

土木・産業資機材販売・施工の

岩野物産を買収

非住宅事業の業容拡大へ

伊藤忠建材

伊藤忠建材（東京都、関野博司社長）は4月30日、岩野物産（同、中山尚社長）の株式を全額取得し子会社化したことを明らかにした（4月30日付電子版速報）。買収額は数十億円と具体的な金額は公表していないが、「伊藤忠建材で過去最高の買収金額」（関野社長）という。

岩野物産は、東日本の販売・施工を行う。地域を中心に、ゼネコ特に、トンネル、水処理のほかから発注される施設や産業廃棄物など土木建築や産業資機材の処理場、橋梁や高架

橋などに使われる土木資材に強みを持つ。取り扱い資材は継ぎ手や管、遮水シートなどで、高いシェアを持っている。2024年8月期売上高は92億7000万円。この分野での100億円近い売上高は全国で十数社程度という。5年後には売上高120億円を見込む。

伊藤忠建材は、事業戦略の一つに非住宅分野の業容拡大がある。土木・産業分野に資材販売・施工ルートを持つ岩野物産をグループ化する事で、新たな事業領域を広げる一助となると見込んだ。伊藤忠建材の子会社に非住宅・工事を担うISエンジニアリング（同、

荒木修一社長）があり、売量の減少、資材販売同社の売上高214億円（24年3月期）と岩野物産の売上高を加算すると306億円余りの業容を確保できる。

伊藤忠建材による

と、同社の建設資材部門やISエンジニアリングなど非住宅系分野からの利益は25年3月期で25%に相当し、前期の16%から9.5%上昇した。今後は非住宅資材の売上高を全体の30%から住宅系資材とはほぼ互角となるような事業展開を目指して、資材の総合商

り、岩野物産買収もその一環となる。

住宅建築戸数や床面積の減少に伴う資材販売は、建築から50年を経

造作用集成材も

JAS製品

TSC 株式会社 ティ・エス・シー

〒292-0838 千葉県木更津市潮浜2-1-53

TEL/0438-37-0206 FAX/0438-37-2349

ホームページ <http://www.syusei-tsc.com>

過する国内の橋梁は75%、トンネルは53%という。社会インフラの再整備は国土強靱化に欠かせない課題だ。また、防災、減災、さらには災害時の対応にも重要な役割がある。こうした分野に資材販売・施工という視点から当社の事業とのかかわりを広げていくことは欠かせないと判断した。非住宅資材分野でもNo.1商社を目指す」と述べている。

▽岩野物産「創業1913年2月、設立70年9月。資本金1億円。従業員64人。事業所」本社、横浜営業所、仙台支店、辰巳倉庫